

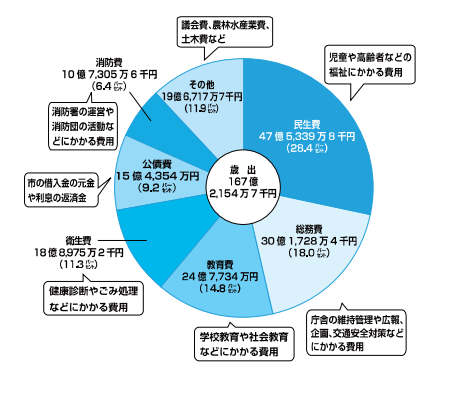
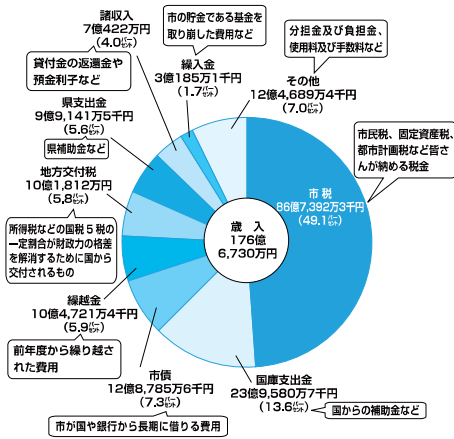
平成22年度の決算

お知らせコーナー

市は皆さんが納めた税金をはじめ、国・県の補助金や借入金などを基に行政運営を行っています。市が平成22年度にこれだけの費用をどのように使ったかを、市の決算としてお知らせします。

◆一般会計の決算

平成22年度の一般会計決算は歳入（収入）が17億6,689万4千円、市の貯金である財政調整基金の取り崩し2億5,279万8千円を含む、歳出が1億7,392万3千円です。差し引きは9億4,575万3千円の黒字ですが、この中には平成22年度を完了しなかったために平成23年度を引き続き実施する事業などに使う財源の2億6,810万9千円が含まれています。



◆歳入・歳出の内訳は左図のとおりです。

これを差し引いた実質的な平成22年度の収支は6億7,764万4千円の黒字となります。歳入・歳出の内訳は左図のとおりです。

◆歳入：地方交付税が増加
歳入の約5割を占める市債は景気低迷の影響などにより、平成21年度に比べて3億3,026万2千円（3・7割）減少しました。

◆歳出：公債費が減少
歳出では民生費が子ども手当の導入などにより、平成21年度に比べて10億9,258万4千円（29・8割）増加しました。一方、市の借金返済のための費用である公債費について繰り上げ償還を行ったことにより、5億4,215万2千円（26・0割）減少したため、歳出全体では4億3,766万2千円（2・6割）減少しました。

東日本大震災の復旧が必要

◆平成22年度に実施した主な事業

【安心して子育てできるまちを築く】
●私立保育園施設整備への補助：1億9,430万4千円
●保育サービスの向上などのため、私立保育園2園の整備に對して補助を行いました。

●中学校の改修：2,026万5千円
生徒が学習しやすい安全な教育環境を実現するため、大山口中学校校舎の耐震補強や安全・防火対策、トイレ改修やバリアフリーなどに配慮した校舎改修工事の基本設計を行いました。

●健康で暮らせるまちを築く
【健康で暮らせるまちを築く】
●健康診断事業：5,409万9千円
生活習慣病の予防や疾病の早期発見・治療を図るため、各種健康検査を実施しました。

【元気に活躍できるまちを築く】
●団塊世代地域活動支援事業：14万1千円
白井市民学校に新たに「しろい発芽部」を創設し、団塊世代の人たちがこれまでの社会経験を生かしながらボランティアや市民活動などに取り組めるよう支援しました。

●農産物のブランド化推進：1億7,200万2千円
農産物のブランド化の推進のため、白井梨のPRチラシやポスターを作成しました。

【ひとり豊かで快適なまちを築く】
●住宅用太陽光発電システム設置への補助：4,930万4千円
地球温暖化の防止や生活環境の向上のため、住宅用太陽光発電システムの設置に對して補助を行いました。

●マンション管理アドバイザーの派遣：8万8千円
さまざまな問題を抱えるマンション管理組合に對してマンション管理士を派遣し、問題解決のために助言などを行いました。

地方債の残高

地方債は将来にわたって市民が利用する道路や公共施設の建設などの費用を、現在の市民だけでなく将来の市民にも負担してもらうことが公平である場合に、県が同意などをした後に国などから借り入れる市の借金です。

一般会計の平成22年度末の地方債残高は下表のとおりです。

地方債の残高（一般会計）

区分	平成22年度末	平成21年度末	差引
総務費	77億7,656万5千円	71億4,336万8千円	6億3,319万8千円
民生費	7億6,469万4千円	9億7,051万円	△2億581万6千円
衛生費	4億9,055万5千円	4億2,367万3千円	△1,461万8千円
土木費	2億1,745万5千円	2億3,879万7千円	△2,134万2千円
消防費	3,779万2千円	5,642万9千円	△1,863万7千円
教育債	39億7,976万3千円	43億5,216万9千円	△3億7,240万5千円
合計	131億8,532万4千円	131億8,494万5千円	37万9千円

※△はマイナスを表します。

表中の数値は千円未満単位を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないところがあります。

市の財産

平成22年度末で市が保有する土地や建物などの財産は下表のとおりです（一般会計以外の財産を含みます）。

市の財産（平成22年度末）

土地	948,663平方㍍	
建物	145,441平方㍍	
有価証券	3億7,226万円	
出資による権利	3億9,006万1千円	
自動車	73台	
基金	土地	42,912平方㍍
	現金	40億2,416万9千円

一般会計以外

平成22年度の特別会計および企業会計の決算は、下表のとおり6つの特別会計が黒字になりました。※各表の△はマイナスを表します。

各表中の数値は千円未満単位を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないところがあります。

特別会計

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業勘定	53億8,487万7千円	52億1,381万8千円	1億7,105万9千円
老人保健	317万6千円	215万3千円	102万3千円
介護保険事業勘定	21億7,763万3千円	20億6,473万9千円	1億1,289万4千円
後期高齢者医療	3億2,887万4千円	3億2,701万1千円	186万4千円
下水道事業	9億33万5千円	7億9,440万2千円	1億593万3千円
学校給食共同調理場事業	4億5,899万1千円	4億5,522万3千円	376万8千円

企業会計

事業名	歳入	歳出	差引	
水道事業	収益的収支	3億9,870万2千円	3億9,426万7千円	443万5千円
	資本的収支	3,513万円	4,923万3千円	△1,410万3千円

※資本的収支の不足額は留保資金などから補いました。